

かけはし

Vol.12 2009. 1月発行

京都府立与謝の海病院

〒629-2261 京都府与謝郡与謝野町字男山481
TEL/FAX: 0772-46-5121 (直通)
URL <http://www.pref.kyoto.jp/yosanoumihp/>

京都府立与謝の海病院 地域医療連携室



京都府立与謝の海病院
院長
内藤和世

新年をむかえて

新年あけましておめでとうございます。穏やかな新年をお迎えのことと存じます。

最近数年の間に、わが国の医療提供体制に大きな変化が見られました。新医師臨床研修制度の発足に伴い、医師不足問題、周産期医療、救急医療などの多くの問題が各地で起こり、市民病院が閉鎖する地域まで現れました。まさに地域医療の崩壊といっても過言でない状況になっています。これらの問題は、冷静に考えてみると、もともと医療資源の乏しい、従来から医師確保に困難を極めた地域から起こっています。また、都会でも救急医療体制は以前から問題を抱えていた領域です。さらに、自治体の財政状況の悪化もあり、公立病院を中心に経営改革が強く求められたことも追い討ちをかけました。臨床研修制度に端を発する医師不足問題が原因のようには言われますが、これまでから内在していた矛盾が一旦に吹き出て、事ここに至ったのだと思います。この状況を打破するには、医療提供のシステム全体を再構築する必要があると考えています。

京都府北部も例外ではなく、同じような状況に陥っています。与謝の海病院では、これまで、病院が地域の中で機能を十分に発揮し、患者様に満足していただだけ、職員が誇りと気概を持って働けるための改革を行ってきました。地域の病院、診療所の先生方、訪問看護ステーションや介護にかかわる方とのネットワークも整ってきました。しかし、医療資源の乏しい当地域では、何から何まですべて欲しい、と言っても無理であり、できること、できないことがあります。今年は、ぜひとも地域の皆様自身にこの地域の医療について考えていただきたいと思っています。この地域の医療を守り、育てていくために、医療機関はどうしたらよいのか、また、地域住民はどうしたらよいのか、たがいに意見を交換し、新しい地域医療の姿を作っていかなければならないと思います。

与謝の海病院は、地域の皆様と共に「患者が中心の、地域に開かれた病院」にしてまいります。皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

